

ずし体指だより

— 創刊号 —



逗子市教育委員会
教育長 野村昇司

「ずし体指だより」発行 おめでとうございます

体育指導委員の皆様には、日頃から本市の体育振興に多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、逗子市体育指導委員協議会の機関紙「ずし体指だより」第一号を発行されますことを、お祝い申し上げます。

さて、本市におきましては、市民総スポーツ運動を提唱し、昭和五七年度には体育指導委員定数を三〇名から六〇名に増員し、地域スポーツ活動の奨励などの施策の推進のほか昭和五九年には「スポーツ都市宣言」を行い、市民総スポーツ運動を推進してまいりました。

この様な状況の中で、これらの取り組みが評価され、体力づくり

優秀組織として、平成一四年には内閣総理大臣表彰を授賞しました。これもひとえに体育指導委員の皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。



逗子市体育指導委員協議会
会長 村木定夫

「ずし体指だより」の 発行にあたって

長年の念願でありました「ずし体指だより」が本年度ようやく発行出来る事となり大変嬉しく思っております。

またこれまでの間、広報委員会の設置をはじめ諸般の準備段階において格段のご指導とご協力を頂きました関係各位に対して心より深く感謝を申し上げます。

「体指だより」では体育指導委員の事業活動やスポーツ・健康に関する様々な情報の提供が記事の中

また、財団法人逗子市体育協会において、総合型地域スポーツクラブの創設を目指した検討が行われておりますが地域体育会から推薦されました体育指導委員の皆様におかれましては、このクラブの設立に向けて、より一層のご協力を賜りたいと願っております。

最後に、逗子市体育指導委員協議会の今後の益々のご発展と、体育指導委員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

心になるものと思われませんが、ただ単にそこにとどまることなく、現在全国において、地域住民の健康や豊かなスポーツライフ創造のために強力に推進されている「総合型地域スポーツクラブ」の設立や運営の担い手として、期待される注目されている我々体育指導委員の対応等についても研究課題として取り上げて行きたいと思っております。

この「体指だより」があらゆる意味でのスポーツ活動向上の一助になればと願っております。

しかし最初からあまり欲張って空振りに終わってしまわぬ様に着々と努力をして参りますので皆様方におかれましては格別のご支援を下さいます様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「体育指導委員」とは

体育指導委員とは市から委嘱を受け地域の社会体育振興に寄与する事を目的とし日々活動をしている人達です。

逗子市では市内八地域の体育会から推薦を受け、現在六〇名が委嘱されています。(巻末に名簿掲載)

体指は個人的にも様々なスポーツ活動を行なっておりますが、この六〇名の集りとして逗子市体育指導委員協議会を組織しております。

協議会では市民スポーツ活動の普及振興を目指し、市主催の行事のほか財団法人逗子市体育協会や地域体育団体、スポーツ少年団等の行事にも積極的に参加しております。

私達体指が活動をする際は腕や胸に「逗子体指」と文字の入った服装をしておりますので、見かけた際にはお気軽にお声をかけて頂き、スポーツに関する事ならどんな事でも相談してみして下さい。



健康まつり市民運動会

体育指導委員協議会主管による、健康まつり市民運動会が五月二十三日(日)第一運動公園自由広場において市民多数が参加して盛大に開催されました。

教育委員会主催によるこの行事は体協、子供会、老人会等の後援を受けて幼児から高齢者まで爽やかな初夏の一日を楽しみました。

天気が危ぶまれておりましたが早朝から関係者が会場に集まり準備作業に掛かりました。みんなの願いが通じたのか空も明るくなり予定どおり実施されました。

昼休みのアトラクションは少年少女による伝統ある「久野谷組太鼓」が披露され爽快な撥さばきに大きな拍手が鳴り止みませんでした。

老人会婦人部による「みんなで踊ろう」は例年好評であり、市民多数が踊りの輪に加わり和やかな交流でありました。大会終了後の撤収作業も迅速に行なわれ、広場は短時間で使用前の状態に戻りました。

最後に競技役員全員で反省会を行い、活発な意見が交わされ次年度も充実した行事にすることを確認しました。

体指関東大会

一都八県から約二二〇〇名の体育指導委員が参加して、六月四日(金)五日(土)の両日、神奈川県民ホール及びその周辺の会場で開催されました。村木会長が大会研修部長に、他四名が第二分科会担当係となり、円滑な運営にあたりました。

大会の数日前に運営委員等が県民ホールに集合して担当係(副主任以上)の紹介と細部についての説明があり、当日に備えました。式典では永年に亘り功績のあった委員の表彰が行なわれ、村木会長もこの栄誉に輝きました。

大会初日の基調講演、桂歌丸師



匠による「笑いのある人生」はたくさんな話術に魅了されました。

二日目は

第一分科会「新しいスポーツのしくみを共創する」

第二分科会「生涯スポーツへの誘い」

第三分科会「ウォーキング実習」

第四分科会「ニュースポーツ体験、

世界ベテラン卓球選手権横浜大会」等を研修し正午に閉会となりました。

実技研修会

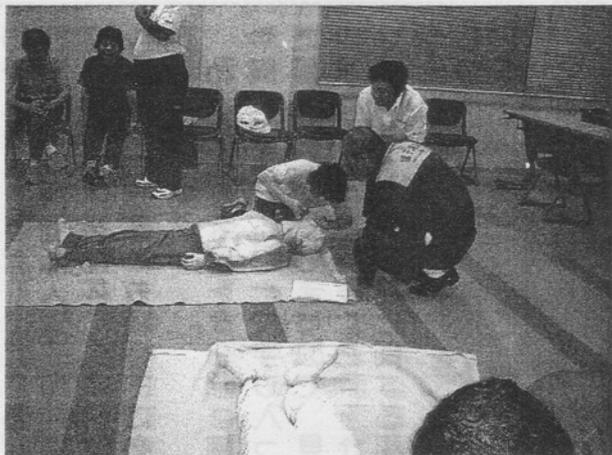
七月二十五日(日) 逗子アリーナにおいて実技研修会を開催しました。

逗子消防署の救急救命士三名を講師に迎え人工呼吸法の実習を行いました。

万一の事故に備えて毎年この時期に開催しております。教本として体指手帳を持参します。実習は傷病者発見から通行人等への九九番通報依頼、さらに救急車が到着するまでの間、傷病者に対する継続した救急法の実施に、参加者は真剣に取り組みました。

訓練であってもマニュアル通りに実施することの難かしさを実感しました。

参加できなかった委員は体指手帳の「万一の事故に備えて」を精読することを望みます。



逗子市民まつり

市制五十周年を祝う第二八回市民まつりが十月二十四日(日)第一運動公園で開催されました。

今年も様々な催しが企画され、子供ショー、高校生のブラスバンド、浪子太鼓、おみこしセレモニー、大道芸、出店等終日人の波で賑いました。

我々体指によるスポーツ教室も大盛況でした。幅広い層を対象としたターゲットバードゴルフとフライングディスクを開催し、両種目とも人気が高く終了時間まで順番待ちの列が絶えませんでした。

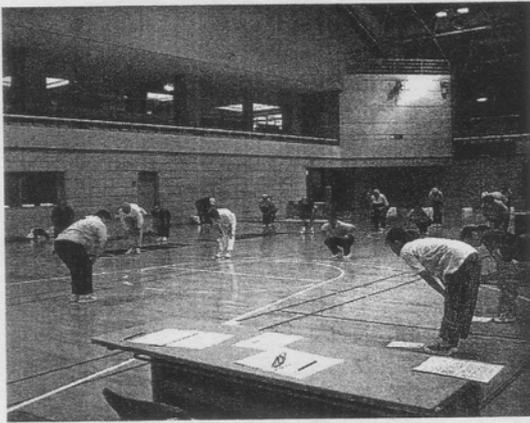
体力テスト会

体力テスト会は十月三日(日)

逗子アリーナで開催されました。当日は朝からの雨で参加者の出足も例年より鈍く感じられました。毎年元気な体力で各種目に挑戦する永井政員さん(八十六歳)は今年も自己の記録に挑戦しておられました。

また雨のため野外練習が中止になったサッカー選手が多数参加し、盛り上がりを見せました。

開始前には血圧測定などの健康状態のチェックが行われ、終了後、看護士さんによる健康維持についての、お話があり、それぞれ自己の記録を確認して解散しました。



オリエンテーリング大会

秋晴れの十一月二十一日(日)参加者多数が地図のポイントを探しながら歩き、逗子の秋を見つけました。

数日前に常任委員による事前調査が行なわれ、ポイントを確認しました。

今回は名所旧跡を巡るコースとしたので、車道の横断も数ヶ所あり約七キロの距離に汗を流しました。我々は路上警戒、ポイント通過者の確認、所要時間の計測等の他、女性委員が美味しい福汁作りに腕をふるい、参加者はゴールした順に福汁に舌つづみを打ちました。今年も無事故で全員完歩しました。

女性研修会

朝から冷たい雨もようとなった一月十五日(土)川崎市体育館で女性研修会が行われました。

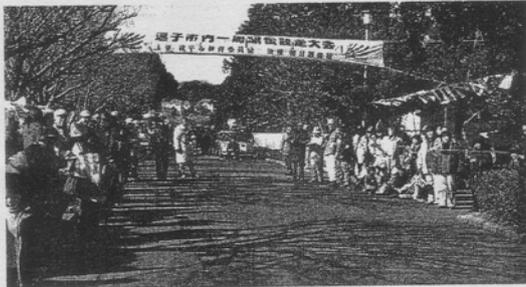
テーマは「中高年向けエアロビック指導法」ということで好評だった昨年に引き続き、同じテーマでの研修になりました。今年、やや高年に焦点をあて、講義、実技、指導法とわかりやすく、楽しく、教

えていただきました。

歩きまわす五、六、七八イのかけ声とともに身体を動かし、他地区の指導委員の方々とのコミュニケーションを計ることもでき、心も身体も暖まった一時でした。

市内一周駅伝

昭和二十九年、逗子市制施行記念として開催された市内一周駅伝大会も今年で第五十二回となり、晴天に恵まれた一月九日(日)三十七チームにより開催されました。



この大会は一部と二部に分かれ、一部は地域対抗、二部は団体対抗となり、午前九時第一運動公園をスタートして六区間二十七・一キロを競いました。沿道には市民多数が旗を振って声援を送って選手を励ましてくれました。第一部は池子Aが大

に輝きました。

我々体指もほぼ全員が競技役員として、観察委員、中継所、先導車、監察指導車、救護車、後尾車等に配置され、事故防止のために全面的に協力をしました。

今年も無事故で終了できたことに、喜びを感じ、厳しい道路事情ですがさらに発展することを祈念しております。

体指県大会

二月六日(日)青空のもと、横浜ドームシアターにおいて県体育指導員大会が行われ、逗子体指から十八名が出席しました。

これからのスポーツ振興の考え方として「スポーツのあるまち・くらしづくり」を基本理念に3033運動の推進などが、あげられました。3033運動とは、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動、スポーツに親むことです。

午前中は新スポーツの体験コーナー、開港の道ウォーキングに参加し、大道芸のアトラクション等楽しいひとときを過ごしました。

功労者表彰の後、元マラソン選手「永田(旧姓佐々木)七恵氏」の講演があり、楽しいお話の中からたくさんの元気をいただきました。

逗子市における

「総合型地域スポーツクラブ」

実現への取組み状況

逗子市はスポーツ振興審議会の建議にもとづいて、市内八体育会を発展充実させスポーツクラブ化する方針です。現在(財)逗子体育協会へ検討を依頼しています。

体協では企画部会員と八体育会の代表者による専門委員会(14名中体指7名)で検討中で今年度中に答申書をまとめて提出される予定です。

検討内容の概要ですが、現在の体協四団体の一つである地域体育団体協議会(八体育会)の活動を更に発展させ仮称「逗子市体育協会スポーツクラブ」とするものです。市民地域住民にとって活動が今まで以上に魅力的になる事が一番大事です。その為に、各体育会の地域活動は今まで通り活発に行ないます。それに加えてアリーナ、温水プール等で全市民対象に各種スポーツ教室等を常設します。初心者、シニアの方々が気軽にいつでも指導者の元にスポーツを楽しむようにします。

「運動公園」

テニス、バードゴルフ他

「温水プール」

水中ウォーク他

会員制とし年会費で体協スポーツクラブ会員となり各体育会に所属し、全活動に参加出来ます。会員数は将来市民の一〇%を目標とします。創設時は五〇〇名以上が財源上からも必要です。今後の予定は、二年間で創設が検討されています。しかし課題は大きく住民の方々、各団体、関係者の理解協力が不可欠です。

特に体指の方々は、各地域のスポーツ活動、組織の中核であり、スポーツクラブ立上げと、運営の中心として活動する事が期待されています。

平成一七年度はスポーツクラブ立上げの第一歩が始まります。皆さんの御協力を切にお願いいたします。

財団法人 逗子市体育協会

企画部会会長 北島惇夫

「アリーナ」

バドミントン、卓球他

体育指導委員紹介 (16~17年度)

- (逗子) 岩下 晃・竹村敏朗・斉藤良子・吉崎潔子
平 芳子
- (桜山) 斎藤久子・石川康俊・井上清吾・河西 勝
愛 敬子・望月百々代・高岡宏行・蒲谷美智子
石渡秀喜
- (沼間) 佐藤 納・矢ヶ崎文子・須田節子・深澤清純
稲葉和子・鈴木繁昭・平井規之・人見久雄
- (池子) 北島惇夫・福本藤彦・山口 勝・石黒孝治
笠原恵子・林 和子・相川時雄・中村正喜
小南博明・相川恒夫
- (山の根) 酒井 博・峯尾尚子・高橋進吾・山上和子
小野 重長・山下美津江
- (久木) 清田耕一郎・橋本友子・川上壯二郎・鈴木栄三
安藤知侑・鈴木美枝子・坐間裕子・村山英彦
上坪靖子
- (小坪) 東 弘之・湯川里枝・田中完治・一柳珠代
二宮孝治郎・高野三津男・二見 孝・村木定夫
- (新宿) 高橋達二・大西美知子・千葉邦雄・菊地桂子
福本紫津

編・集・後・記

昨年九月、広報委員会を立ち上げ今回めでたく創刊号を発行するはこびとなりました。今回は主に、体指の事業内容などを紹介しました。体指の活動状況や役割などが、少しは理解していただけたのではないのでしょうか。

今後、新しいスポーツの紹介、活動の工ピソードなど紙面を通してお伝えしていきたいと思っております。手さぐりではじまった広報委員会ですが、仲よく和気あいあいをモットーに楽しい「体指だより」を作っていきたいと思

広報委員会

人見久雄・清田耕一郎・村木定夫
田中完治・湯川里枝・笠原恵子

発行/逗子市体育指導委員協議会
事務所/逗子アリーナ内 tel.870-1296
発行責任者/村木定夫
印刷/(株)アーテック tel.871-5115